

# 2017 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
研究所長名	大窪 健之

## I. 研究成果の概要

本欄には、研究所・センターの実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、研究所総合計画(5 ヵ年)および 2017 年度重点プロジェクト申請調書に記載した内容に照らし、項目立てなどをおこなうできるだけわかりやすく記述してください。

文化遺産・歴史都市の保全活用と災害安全の両分野をつなぐ総合的な研究領域である文化遺産防災学を創発し、これに関する研究・教育・社会連携、さらには情報基盤の拠点形成を目標に据えた活動を、継続的に実施した。以下、具体的な成果について、活動項目毎に要約する。

- ① **歴史文化都市の時空間データ基盤研究部会:** 歴史文化都市の将来の災害リスクを明らかにし、災害時の対応や復興時の状況を歴史的背景とともに具体的に評価していくために、京都をはじめとする歴史都市を対象にした、時空間的なデータ基盤を構築し、歴史文化都市ならびに文化遺産の災害リスクや空間の質に関する地理空間分析とこれをふまえた評価ツール開発を行なった。
- ② **歴史文化都市の防災技術研究部会:** 「歴史・文化・意匠的価値」と「防災性能」を兼ね備えた歴史文化都市・地域の防災技術を確立すること目的に、歴史文化都市空間の歴史的・文化的価値を保全する防災技術を向上させるとともに、(1) 伝統構法木造建築物の構造力学特性の解明、(2) 歴史的建造物の耐震補強・改修技術の開発、(3) 歴史文化都市の防火システムと機器の開発、(4) 歴史文化地域の地盤環境を踏まえた防災技術の開発に関する研究を他の研究部会とも連携して行った。
- ③ **歴史文化都市の防災デザイン研究部会:** 上記①、②の研究成果を統合し、実際に生きた歴史文化都市に実装するためには、受け継がれた地域環境とコミュニティ社会の特性とニーズに合った、「環境的・文化的に重要な空間を保全しつつ開発する」ためのジオデザインの視点に立脚した計画と政策が不可欠となる。地域固有の物理的・社会的・歴史的特性をデータ基盤により把握し、その特性分析により未来の減災の知恵と呼べる技術を抽出し、これを将来の地域環境と地域社会の時間軸上に位置づけようとする防災デザインの取組みを行なった。
- ④ **国際展開・社会連携 研究支援プログラム:** 第 12 回となる UNESCO Chair 国際研修では、過去最大の 235 名の応募者より研修者 11 名を選出し実施した。2017 年度には気候変動を対象にして、国内の歴史都市における水害被害と復興に関わる研究を集約させ、紀伊半島大水害の被災地である熊野那智大社や横垣峠、その周辺地域の経験を学び、海外からの講師と国内講師陣と協力した復興をテーマとしたジョイントワークショップを展開することができた。国立文化財機構や京都国立博物館からの協力のもとに、本研修のテーマとして取り組んできた地震・火災の予防に限らず、洪水・土砂災害などの水害に対しての防災と復興、動産文化財の災害時における緊急対応や、長期的な復興のプロセスの中での無形文化財復興の重要性、マルチステークホルダーによる協力体制構築など、世界的なニーズに充実に応える国内研究の社会還元と展開可能性の確認を行なった。
- ⑤ **研究所のその他主催事業等:** 年次事業「第 11 回・歴史都市防災シンポジウム」(7/1) を開催し、37 件の研究発表と活発な討議が行われ、国内外から約 110 名の参加があった。「立命館土曜講座」では日本地域学会との共催で「歴史都市の保全と継承政策」をテーマに公開講演会として市民向け講義を提供した。定例研究会も、年度内に 7 回開催し、各研究部会の若手研究者から成果報告がなされ活発な研究交流を行なった。他にも情報発信として学術論文集「歴史都市防災論文集 Vol. 11」や「京都歴史災害研究 第 19 号」を刊行した。地域社会への貢献を目指した事業である「第 11 回地域の安全安心マップコンテスト」では 45 件の応募があり、幅広い地域からの作品が寄せられた。

## II. 拠点構成員の一覧

本欄には、2018年3月31日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③学振特別研究員(PD・RPD)、④博士後期課程院生・一貫制博士課程3回生以上に在籍する院生

役割	氏名	所属	職位
研究所長・センター長	大窪 健之	理工学部 都市システム工学科	教授
運営委員	鈴木 祥之	衣笠総合研究機構	教授
	中谷 友樹	文学部地域研究学域	教授
	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	小川 圭一	理工学部都市システム工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	金 度源	衣笠総合研究機構	准教授
	武田 史朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	花岡 和聖	文学部地域研究学域	准教授
	深川 良一	理工学部都市システム工学科	教授
	藤本 将光	理工学部都市システム工学科	准教授
	宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	矢野 桂司	文学部地域研究学域	教授
	河角 直美	文学部地域研究学域	准教授
吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授	
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	泉 知論	理工学部電気電子工学科	教授
	伊津野 和行	理工学部都市システム工学科	教授
	板谷 直子	衣笠総合研究機構	准教授
	片平 博文	文学部地域研究学域	特任教授
	川合 誠	情報理工学部情報理工学科	特任教授
	川崎 佑磨	理工学部都市システム工学科	准教授
	小林 泰三	理工学部都市システム工学科	教授
	里深 好文	理工学部都市システム工学科	教授
	高橋 学	文学部地域研究学域	教授
	塚口 博司	理工学部都市システム工学科	特任教授
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
	藤井 健史	理工学部建築都市デザイン学科	助教
	持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	山内 寛紀	理工学部電気電子工学科	特任教授
	山崎 有恒	文学部地域研究学域	教授
	山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	冷泉 為人	衣笠総合研究機構	教授
ロヒト・ジグヤス	衣笠総合研究機構	教授	

① 専門研究員・研究員	崔 明姫	衣笠総合研究機構	専門研究員
	谷端 郷	衣笠総合研究機構	専門研究員
	石田 優子	総合科学技術研究機構	専門研究員
② リサーチアシスタント			
③ 大学院生	谷崎 友紀	文学研究科	博士課程後期課程 4 回生
	郭 凱泓	文学研究科	博士課程後期課程 4 回生
	佐藤 弘隆	文学研究科	博士課程後期課程 3 回生
	常木 佳奈	文学研究科	博士課程後期課程 2 回生
	前田 一馬	文学研究科	博士課程後期課程 2 回生
	印牧 真明	文学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	山本 峻平	文学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	小池 潤	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	小林 和敬	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	佐藤 峻亮	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	石川 一平	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	小玉 寧人	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	奥 浩	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	坂下 太一	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	西村 祐香	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	上坂 僚	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	竹村 聡史	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	藤井 理央	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	張 双双	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	大矢 綾香	理工学研究科	博士課程後期課程 3 回生
	董 大超	理工学研究科	博士課程前期課程 3 回生
	中橋 明久	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	野中 慎介	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	白 波	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	山戸 貴嗣	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	稲垣 大基	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	伊良知 慎太郎	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	岡野 哲也	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	栗原 健伸	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	河野 恒太	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	杉藤 湊太	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	栗原 拓大	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	戴 子龍	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
臼井 秀一郎	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生	
坪田 叡伴	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生	
菅谷 英之	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生	
橋本 峻太郎	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生	

	林田 南実	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	高杉 三四郎	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	濱村 正浩	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	Aulia Akhmad	理工学研究科 (インドネシアリンクージ派遣)	博士課程前期課程 2 回生
	Farida Hudanti	理工学研究科 (インドネシアリンクージ派遣)	博士課程前期課程 2 回生
	丈達 庸介	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	高山 翔揮	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	縄手 洋介	理工学研究科	博士課程前期課程 2 回生
	鬼頭 和記	理工学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程 1 回生
	Zulfadrim	政策科学研究科	博士課程後期課程 1 回生
	留野 僚也	政策科学研究科	博士課程前期課程 1 回生
	④ 日本学術振興会特別 研究員(PD・RPD)	上杉 昌也	日本学術振興会
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	白石 陽子	衣笠総合研究機構	補助研究員
	今村 聡	衣笠総合研究機構	補助研究員
客員協力研究員	高松 正彦	一般財団法人日本緑化センター 緑化事業部	次長
	田中 哮義	京都大学	名誉教授
	森 清顕	清水寺	執事補
	高橋 暁	ユネスコ太平洋州事務所	文化担当官
	福島 信夫	株式会社中蔵特別顧問	特別顧問
	福山 大典	株式会社アイエス工業所	
	樋本 圭佑	国土交通省国土技術政策 総合研究所	主任研究員
	岡田 篤正	日本活断層学会	会長
	林 倫子	関西大学環境都市工学部 都市システム工学科	助教
	北原 糸子	(衣笠総合研究機構)	客員研究員)
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	諏訪 浩	大谷大学 文学部	非常勤講師
	水田 哲生	関西大学 学事局 授業支援 グループ テクノサポートチーム	専門技術員
	和泉 潤	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	特任教授
	城月 雅大	名古屋外国語大学現代国際学部	准教授

	大槻 知史	高知大学総合科学系 地域協働教育学部門	准教授
	石橋 健一	名古屋産業大学 環境情報ビジネス学部	教授
	梶 秀樹	筑波大学	名誉教授
	神田 隆男	丸軒企業有限公司	京都支店長
	山崎 文雄	千葉大学大学院工学研究科	教授
	Chaweewan DENPAIBOON	タマサート大学建築学部	准教授
	高橋 彰	関西学院大学総合政策学部	契約助手
	桐村 喬	皇学館大学文学部	助教
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅袋屋 京都市指定有形文化財駒井家住宅	顧問 チーフマネージャー
	矢尾田 清幸	おきなわ県土地改良事業団体連合会 多面的機能保全推進協議会	班長
	青木 和人	あおき地理情報システム研究所	代表
	埴淵 知哉	中京大学国際教養学部	教授
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室	
	Lata SHAKYA	(衣笠総合研究機構)	客員研究員)
	佐藤 英佑	株式会社佐藤木材	取締役
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役
	古川 愛子	京都大学大学院 地球環境学堂	准教授
	金 玫淑	日本ミクニヤ株式会社	
	益田 兼房	(衣笠総合研究機構)	上席研究員)
	村中 亮夫	北海学園大学 人文学部	准教授
	Paola RIZZI	ラクイラ大学 建築学部	教授
	大岡 優	独立行政法人 国立高等専門学校機構 都城工業高等専門学校	講師
	丸岡 稔典	名古屋産業大学現代ビジネス学 部	特任講師
	米島 万有子	熊本大学文学部	准教授
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	宮崎 洋司	株式会社 プラス社会計画センタ ー	所長
	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野	教授
	Bungkwan KIM	ソウル特別市文化体育観光部 博物館政策課	
	江口 里奈	公益財団法人京都市景観 ・まちづくりセンター	

	CHEEK, Wesley Webb	Tulane University	Doctoral Fellow
	大邑 潤三	佛教大学 歴史学部	非常勤講師
	酒井 宏平	名古屋工業大学大学院 工学研究科	日本学術振興会 特別研究員(PD)
	山本 由美子	コルゲート大学地理学科	研究員
	山本 大策	コルゲート大学地理学科 アジア研究プログラム	准教授
	田中 克彦	(総合科学技術研究機構)	上席研究員
その他の学外者	須田 達	金沢工業大学 環境・建築学部 建築学科	准教授
	向坊 恭介	鳥取大学大学院工学研究科	助教
	Joseph Allan KING	ICCROM	Director of Site Unit
	Giovanni BOCCARDI	Emergency preparedness and response Unit (CLT/EPR), Culture Sector, UNESCO	Chief
	天野 丞可	帝塚山大学心理科学研究科 心理科学専攻臨床心理学専修	博士課程前期課程 2 回生
研究所等構成員 計 146 名 (うち学内の若手研究者 計 50 名)			

### Ⅲ. 研究業績

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2018年3月31日時点)

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	青柳憲昌	『富田林市富田林伝統的建造物群保存地区保存対策及び見直し調査 報告書』	分担執筆	2018年3月	富田林市教育委員会生涯学習部文化財課発行	高田昇・大場修・青柳憲昌・東野良平・COM計画研究所	16-17,42-44,67-82
2	深川良一	Characteristics of Groundwater Response to Precipitation for Landslide Prevention at Kiyomizu-Dera	共著	2017年10月	Journal of Disaster Research(12巻5号)	Danjo, T. Ishizawa, M. Fujimoto, N. Sakai, and R. Fukagawa	993-1001
3	伊津野和行	平成28年熊本地震による通潤橋の地震応答と耐震補強に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	萩原一帆・伊津野和行	71-78
4	伊津野和行	通潤橋の地震応答特性に関する研究	共著	2017年9月	土木学会論文集A1(構造・地震工学)(73巻4号)	伊津野和行・石田優子・藤本将光・深川良一	I_1-I_8
5	谷端 郷	京都市大洪水—GISからのアプローチ—	単著	2017年9月	安田善憲・高橋学編『自然と人間の関係の地理学』、古今書院	谷端 郷	126-145

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳憲昌	「滋賀県草津市常盤地区(旧栗太郎北部)の近世における条里地割の変化—近世初期の『検地帳』と明治初期の『地籍図』の比較検討を通して—」	共著	2017年4月	『日本建築学会計画系論文集』(734号)	小西佐枝・青柳憲昌	1099-1107	有

2	青柳憲昌	「滋賀県における前室付三間社流造本殿の外観意匠の特徴」	共著	2017年6月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』	小西佐枝・青柳憲昌	589-592	無
3	青柳憲昌	「台地型寺内町の防災防衛的特性」	共著	2017年7月	『歴史都市防災論文集』第11号(11号)	青柳憲昌・臼井秀一郎・坪田叡伴・大場修	1-8	有
4	青柳憲昌	「法隆寺金堂壁画保存事業における『防災』の理念と手法」	単著	2017年7月	『歴史都市防災論文集』第11号(11号)	青柳憲昌	17-24	有
5	青柳憲昌	『近代化遺産』概念の成立経緯と修理手法」	単著	2017年8月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	坪田叡伴・青柳憲昌	323-324	無
6	青柳憲昌	「1955～56年の『伝統論争』期における建築界の伝統理解—建築家たちの『民家』への注視について—」	共著	2017年8月	『日本建築学会大会学術講演集梗概集』	菅谷英之・青柳憲昌	199-200	無
7	青柳憲昌	「舞鶴赤れんが倉庫群の保存と活用—市民のための『都市公園』」	単著	2017年11月	『建築士』782号(782号)	青柳憲昌	28-29	無
8	大窪健之	Environmental Water Supply System (WSS) for Disaster Mitigation in Seismic Fire - Case Project in Kiyomizu World Cultural Heritage Zone-	単著	2017年6月	Abitare la Terra (international A class magazine) (No.42巻)	Takeyuki Okubo	18-21	有
9	大窪健之	京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション—火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して—	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(vol.11巻)	林田南実, 金度源, 大窪健之, 林倫子	151-158	有
10	大窪健之	積雪期を考慮した観光客の津波避難シミュレーション—北海道函館市重要伝統的建造物群保存地区を対象として—	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(vol.11巻)	金度源, 與田直斗, 大窪健之, 林倫子	159-166	有
11	大窪健之	国宝松本城の震災時における観光客の避難誘導計画	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(vol.11巻)	大窪健之, 紺谷涉, 金度源, 林倫子	167-174	有
12	大窪健之	京都市醍醐寺の地震防災拠点化に向けた一時滞在施設及び避難所としての利用可能性評価に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(vol.11巻)	吉田恭祐, 大窪健之, 金度源, 林倫子	183-190	有
13	大窪健之	京都市先斗町における火災危険性と初期消火能力に関する評価研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(vol.11巻)	杉山貴教, 金度源, 大窪健之, 林倫子	199-206	有
14	大窪健之	水害伝承が住民の災害意識に及ぼす影響に関する一考察—滋賀県長浜市木之本町石道地区を対象として—	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(vol.11巻)	林倫子, 坂本正樹, 昌子知正, 金度源, 大窪健之	207-214	有
15	岡井有佳	3項道路指定における防災性能の担保に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11号)	小池貴大・岡井有佳・加藤仁美・池宮秀平	135-142	有

16	岡井有佳	密集市街地の防災性能向上と狭隘道路整備をめぐる政策的展開	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11号)	池宮秀平・加藤仁美・岡井有佳・小池貴大	275-280	無
17	岡井有佳	住民主体の事前協議制度の実効性に関する研究～京都市姉小路界限まちづくり協議会を事例として～	共著	2017年7月	日本都市計画学会関西支部研究発表会講演概要集(15巻0号)	坂上嘉隆・岡井有佳	85-88	無
18	岡井有佳	鴨川から東山を眺める眺望景観保護に関する研究～空中開発権の買収による視線保護の検討～	共著	2017年8月	2016年度大会学術講演梗概集F-1	二神夏菜子・山崎正史・岡井有佳	713-714	無
19	岡井有佳	周囲の景観と調和した屋外広告物規制に関する研究～石川県金沢市を対象として	共著	2017年8月	2017年度大会学術講演梗概集F-1	新井野優雅・岡井有佳	1117-1118	無
20	岡井有佳	持続可能な道路空間の利活用方策に関する一考察～道路占用許可の特例制度に着目して～	共著	2017年8月	2017年度大会学術講演梗概集F-1	桑迫修平・岡井有佳	335-338	無
21	岡井有佳	地方都市における都市集約化の実現に向けた都市計画制度のあり方～用途地域のコンパクト化の意義と方策～	共著	2017年8月	2017年度大会学術講演梗概集F-1	矢谷明也・岡井有佳	155-158	無
22	岡井有佳	用途地域見直しの運用実態に関する研究～関西エリアの市町村を対象として～	共著	2017年8月	2017年度大会学術講演梗概集F-1	吉田隼斗・岡井有佳	159-162	無
23	岡井有佳	地区計画の実効性確保に関する研究～神戸市、世田谷区、尼崎市を研究対象として	共著	2017年9月	日本建築学会計画系論文集(82巻739号)	岡井有佳・内海麻利	2351-2359	有
24	岡井有佳	日仏の水害対策のための土地利用・建築規制	共著	2017年10月	日本都市計画学会都市計画論文集(52巻3号)	馬場美智子・岡井有佳	610-616	有
25	鈴木祥之	伝統木造の束の回転めり込みメカニズムと定式化	共著	2017年6月	日本建築学会構造系論文集(82巻736号)	棚橋秀光, 大岡優, 鈴木祥之	853-861	有
26	鈴木祥之	伝統構法木造建築物の復元力特性と耐震性能	単著	2017年6月	日本ばね学会会報(549巻)	鈴木祥之	2-3	有
27	鈴木祥之	平成28年(2016年)熊本地震で被災した八王神社の解析的研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	瀧野敦夫, 佐藤零, 向坊恭介, 鈴木祥之	49-56	有
28	鈴木祥之	悉皆調査に基づく2016年熊本地震における伝統構法木造建築物の被害と柱脚移動の分析	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	向坊恭介, 佐藤英佑, 鈴木祥之	57-64	有
29	鈴木祥之	2016年熊本地震における被災した伝統構法木造建築物の3次元地震応答解析	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	村田晶, 八木耀平, 鈴木祥之, 宮島昌克	65-70	有
30	鈴木祥之	伝統構法木造仕口の復元力特性と摩擦の効果	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	棚橋秀光, 吉富信太, 須田達, 大岡優, 岩本いづみ, 鈴木祥之	87-94	有
31	鈴木祥之	伝統構法木造軸組における土塗り小壁の	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	山田耕司, 中治弘行, 長瀬正, 鈴木祥	95-102	有



		復元力評価法				之		
32	鈴木祥之	実大実験に基づく土塗り小壁付木造軸組の復元力特性	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	中治弘行, 長瀬正, 山田耕司, 鈴木祥之	103-110	有
33	鈴木祥之	加子母明治座の耐久性調査	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	藤井義久, 藤原裕子, 鈴木祥之	255-258	無
34	鈴木祥之	伝統木造T字型仕口の回転めり込み特性と定式化	共著	2017年9月	日本建築学会構造系論文集(82巻739号)	棚橋秀光, 大岡優, 鈴木祥之	1403-1411	有
35	金度源	京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション-火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して-	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	金度源, 大窪健之, 林倫子	151-158	有
36	金度源	京都市先斗町における火災危険性と初期消火能力に関する評価研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	杉山貴教, 金度源, 大窪健之, 林倫子	199-206	有
37	金度源	津波災害に対する避難所としての社寺の利用に関する研究～和歌山県串本町を対象にした空間の設備の評価と補完の提案～	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	金度源, 中塚脩斗, 大窪健之, 林倫子	281-288	無
38	金度源	国宝松本城の震災時における観光客の避難誘導計画	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	大窪健之, 紺谷渉, 金度源, 林倫子	167-174	有
39	金度源	積雪期を考慮した観光客の津波避難シミュレーション～北海道函館市重要伝統的建造物群保存地区を対象として～	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	金度源, 與田直斗, 大窪健之, 林倫子	159-166	有
40	里深好文	白川流域の洪水による歴史的建造物への影響評価 -熊本地震および阿蘇山噴火を考慮した流出解析-	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(第11巻)	梶山敦司・里明信・里深好文	111-118	有
41	里深好文	土石流の規模と地形データの解像度が到達範囲に及ぼす影響	共著	2018年3月	土木学会論文集B1(水工学)(74巻4号)	中谷加奈・里深好文	I_1201-I_1206	有
42	里深好文	既設不透過型砂防堰堤における流木対策の高度化に関する提案	共著	2018年3月	土木学会論文集B1(水工学)(74巻4号)	原田紹臣・高山翔揮・中谷加奈・里深好文・水山高久	I_1219-I_1224	有
43	里深好文	一次元解析結果の平面二次元による表現手法の開発～解析結果のGISデータ化～	共著	2018年3月	土木学会論文集B1(水工学)(74巻4号)	梶山敦司・里明信・岸上直之・柳崎剛・里深好文	I_1447-I_1452	有
44	武田史朗	オランダの空間計画における「空間の質」の分野横断的受容の過程およびその定義の変遷	単著	2017年7月	ランドスケープ研究(オンライン論文集)(10巻)	武田史朗	80-92	有
45	豊田祐輔	姫路城における大地震時の国内観光客の一斉帰宅抑制へ向けた滞在意図の変化に関する研究	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集(11巻)	豊田祐輔, 酒井宏平, 崔明姫, 鐘ヶ江秀彦	175-182	有

46	豊田祐輔	Recognizing and Integrating Indigenous Knowledge into Disaster Early Warning System in Mentawai	共著	2017年12月	Internet Journal of Society for Social Management Systems(11巻1号)	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko	202-212	有
47	豊田祐輔	Contribution of Gaming Simulation in Building Community-based Disaster Risk Management Applying Japanese Case to Flood Prone Communities in Thailand Upstream Area	共著	2018年3月	International Journal of Disaster Risk Reduction(27巻)	Tanwattana Puntita and Toyoda Yusuke	199-213	有
48	豊田祐輔	「社会人基礎力」の時点自己評価と振り返り自己評価の相違—タイ人大学生を対象とした短期間国際PBL研修を事例として—	単著	2018年3月	地域情報研究-立命館大学地域情報研究所紀要-(7号)	豊田祐輔	60-72	無
49	矢野桂司	二つの『京都市明細図』の概要とそのGISデータベースの構築—京都府立総合資料館所蔵本と長谷川家住宅所蔵本—	共著	2017年7月	地理学評論(90巻4号)	河角直美・矢野桂司・山本峻平	390-400	有
50	矢野桂司	ハーバード大学の地理学とGISの盛衰と展開	単著	2017年7月	理論地理学ノート(19巻)	矢野桂司	55-70	無
51	矢野桂司	Collision Visualization of a Laser-Scanned Point Cloud of Streets and a Festival Float Model used for the Revival of a Traditional Procession Route.	共著	2017年9月	The International Archives of the Photogrammetry, Remote Sensing and Spatial Information Sciences(XLII-2/W7巻)	Weite Li, Kenya Shigeta, Kyoko Hasegawa, Liang Li, Keiji Yano and Satoshi Tanaka		有
52	矢野桂司	日本版 Map Warper の構築と活用	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	矢野桂司・鎌田遼	1-4	無
53	矢野桂司	すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィクスの活用	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	上杉昌也・矢野桂司	1-4	無
54	矢野桂司	クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題—京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として—	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	高橋彰・河角直美・矢野桂司・山路正憲・山本俊平・佐藤弘隆・今村聡	1-4	無
55	矢野桂司	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	共著	2017年10月	地理情報システム学会講演論文集(27巻)	青木和人・矢野桂司・中谷友樹		無
56	矢野桂司	デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用—「京都の鉄道・	共著	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂	31-36	有

		バス写真データベース」の構築ー			(2017 巻 24 号)	司		
57	矢野桂司	個人の交通行動と近隣環境に関するジオデモグラフィクス分析	共著	2017 年	GIS-理論と応用(25 巻 1 号)	上杉昌也・矢野桂司	11-22	有
58	矢野桂司	ジオデモグラフィクスによる社会地区類型を活用した窃盗犯の発生要因に関する小地域分析	共著	2018 年 1 月	E-journal GEO(13 巻 1 号)	上杉昌也・樋野公宏・矢野桂司		有
59	矢野桂司	すまいの耐震化の普及・啓発におけるジオデモグラフィクスの活用: 京都市を事例として	共著	2018 年 3 月	京都歴史災害研究(39-50 号)	上杉昌也・矢野桂司	39-50	有
60	山田悟史	帰宅困難者数と未収容者の推計と避難施設の適正配置に関する研究 -京阪神都市圏外を含めた京都市への来訪者を対象として-	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集(11 巻)	北本英里子, 山田悟史, 及川清昭	191-198	有
61	山田悟史	GIS を用いた木造密集市街地における袋路の避難経路の抽出方法に関する研究	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集(11 巻)	雪谷亮太, 宗本晋作, 山田悟史, 北本英里子	pp143-150	有
63	山田悟史	超高層住宅の集住体における住戸の立地及び居住階の環境認知による実態圏域の形成について	共著	2017 年 12 月	住宅系研究報告会論文集(12 巻)	宋士淳, 木村敏浩, 山田悟史, 大内宏友	pp140-148	有
64	石田優子	通潤橋の地震応答特性に関する研究	共著	2017 年 9 月	土木学会論文集A1(73 巻 4 号)	伊津野和行、石田優子、藤本将光、深川良一	I_1-I_8	有
65	石田優子	Consideratuin about causes of the Wat Krasai stupa inclination in Ayutthaya, Thailand	共著	2017 年 9 月	Proceedings of the first Joint Seminar on Landslide、Flood Disasters and Environmental Issues	Y.Ishida、A.Oya、C.Denpaiboon、D.Rinchumphu、Y.Toyota、H.Kanegae、M.Fujimoto and R.Fukagawa		無
66	石田優子	Estimation of initial ground conditions under stupas based on one-dimensional consolidation theory	共著	2017 年 11 月	Proceedings of the Seventh International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida、Ayaka Oya、Chaweewan Denpaiboon、Masamitsu Fujimoto and Ryoichi Fukagawa		有
67	石田優子	平成 23 年台風 12 号に伴う熊野那智大社裏山の斜面崩壊・土石流の実態	共著	2017 年 11 月	Kansai Geo-Symposium 論文集	矢野晴彦、辻野裕之、谷垣勝久、石田優子、後誠介、田内裕人、本塚智貴、江種伸之		有
68	崔明姫	自然災害による文化財の被害および修復費用に関する調査研究	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集(11 巻)	崔明姫、米島万有子、中谷友樹、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦	33-40	有
69	中谷友樹	全国調査からみた文化財保有社寺における犯罪被害	共著	2017 年 7 月	歴史都市防災論文集(11 巻)	中谷友樹、米島万有子、崔明姫	25-32	有
70	谷端 郷	山奈宗真著『岩手沿岸古地名考』の書誌学的検討と内容分析	共著	2017 年 3 月	歴史地理学 59-2	谷端 郷・村中亮夫・塚本章宏・花岡和聖・磯田 弦	27-42	有

71	谷端 郷	「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生—宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例として—	共著	2017年7月	歴史都市防災論文集 11	板谷直子・谷端郷・中谷友樹	223-230	有
72	谷端 郷	津波地名や由来は継承されるのか？—山奈宗真著『岩手沿岸古地名考全』の追跡調査—	共著	2018年2月	地理科学 72-4	村中亮夫・谷端郷・塚本章宏・花岡和聖・磯田弦	223-246	有
73	谷端 郷	マップコンテストによる子どもの防災・防犯・交通安全教育への取り組みの成果と課題—「第11回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト」の事業報告—	共著	2018年3月	京都歴史災害研究 19	谷端 郷・崔 明姫・石田優子	51-58	無

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳憲昌	「歴史都市の防災文化に関する研究 富田林寺内町の防災的特性（中間報告）」	2017年4月	立命館大学歴史都市防災研究所定例研究会	
2	青柳憲昌	「法隆寺昭和大修理と金堂壁画 —『飛天』はなぜ焼けなかったのか？」	2017年12月	—法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂壁画『飛天』の美に迫る	
3	青柳憲昌	「法隆寺壁画収蔵庫（1952）の建築的特徴」	2017年12月	—法隆寺シンポジウム—法隆寺金堂壁画『飛天』の美に迫る	
4	青柳憲昌	「旧今宿 調査概要（近代町家について）」	2017年12月	今宿宿伝統的建造物群保存対策調査会議（南越前町）	
5	青柳憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 活動報告（2017年度）」	2018年3月	第3回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ（第3回）全体会合/法隆寺金堂壁画保存活用委員会（第4回）	
6	青柳憲昌	「『復元学』の射程—関野克の登呂遺跡復元住居と大岡實のRC造復元寺院建築を通して」	2018年3月	2018年3月24日、第三回「復元学」研究会、於・奈良文化財研究所	
7	泉知論	「害獣対策のためのアライグマ画像データベースの構築と深層学習による動物画像分類の試行」	2017年6月	電子情報通信学会 技術研究報告, vol.117, no.105, PRMU2017-34, pp.51-56,	初田慎弥, 大野真史, 孟林, 泉知論
8	泉知論	「害獣自動認識のためのアライグマ画像データベースの構築と深層学習による認識の試行」	2017年7月	歴史都市防災論文集, vol.11, pp.127-134	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林
9	泉知論	「アライグマの自動検出と監視カメラ向け実装の試行」	2017年9月	第282回 画像電子学会研究会 講演7	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林
10	泉知論	「人工知能で害獣対策～アライグマ検知カメラの研究」	2017年12月	アライグマ・ハクビシンシンポジウム2017	泉知論, 孟林, 初田慎弥, 尾張孔政, 大野真史
11	泉知論	「監視カメラ向けアライグマ自動検出の試行評価」	2018年1月	平成29年度 計測自動制御学会関西支部・システム制御情報学会 若手研究発表会	初田慎弥, 大野真史, 泉知論, 孟林
12	泉知論	「文化財害獣対策のための学習用データベースの構築と認識精度向上」	2018年3月	画像電子学会第284回研究会	初田慎弥, 孟林, 泉知論
13	大窪健之	Environmental Water Supply System (WSS) for Disaster Mitigation in Seismic Fire - Case Project in Kiyomizu World Cultural Heritage Zone-	2017年6月	XV International Forum “World Heritage and Disaster”	Takeyuki Okubo
14	大窪健之	「京都市先斗町における来遊者を対象とした避難シミュレーション—火災・地震発生時の混雑による渋滞に着目して—」	2017年6月	平成29年度日本建築学会近畿支部研究報告集, 第57号・計画系, pp.389-392	林田南実, 大窪健之, 金度源, 林倫子
15	大窪健之	「津波災害に対する避難所としての社寺の利用に関する研究 ～和歌山県串本町を対象とした空間と設備の評価と補完の提案」	2017年7月	歴史都市防災論文集, vol.11, pp.199-206	金度源, 中塚脩斗, 大窪健之, 林倫子

		～			
16	大窪健之	Utilization of historic courtyards as evacuation site and involvement of local community for its management during 2015 Gorkha earthquake	2017年12月	ICOMOS Scientific Symposium 2017	Lata SHAKYA, Sanshiro TAKASUGI, Dowon KIM and Takeyuki OKUBO
17	大窪健之	大阪府交野市倉治における伝統的水システム「取り水」の歴史と利用実態	2017年12月	景観・デザイン研究発表会, 土木学会	林 倫子、森 彩乃、大窪 健之、金 度源
18	鐘ヶ江秀彦	近未来における歴史都市の保全継承	2017年	日本地域学会 第 54 回年次大会 学術発表論文集	鐘ヶ江秀彦
19	鐘ヶ江秀彦	レジリエント・シティにおける地域情報化	2017年	日本地域学会 第 54 回年次大会 学術発表論文集	清水泰有・鐘ヶ江秀彦
20	金 度源	歴史的な町並みの防災、学び、そして育てる	2017年6月	第9回柳都新潟・古町花街シンポジウム まちを未来へ～防災と景観保全を考える～	金 度源
21	金 度源	Introduction and the Challenge of Disaster Risk Management System on Cultural Heritage	2017年6月	2017 文化遺産防災国際専門家会議、韓国文化財防災学会	金 度源
22	鈴木祥之	土塗り小壁付木造軸組の復元力特性への垂れ壁高さの影響	2017年7月	日本建築学会大会学術講演梗概集	中治弘行、長瀬 正、鈴木祥之
23	鈴木祥之	平成 28 年 (2016 年) 熊本地震における建築物被害の外観悉皆調査 その1 上益城郡小谷地区の被害	2017年7月	日本建築学会大会学術講演梗概集	向坊恭介、大岡 優、村田 晶、松本慎也、佐藤英佑、鈴木祥之
24	鈴木祥之	平成 28 年 (2016 年) 熊本地震における建築物被害の外観悉皆調査 その2 阿蘇郡西原村布田地区の被害	2017年7月	日本建築学会大会学術講演梗概集	大岡 優、向坊恭介、中治弘行、瀧野敦夫、向井洋一、鈴木祥之
25	鈴木祥之	伝統構法木造仕口の繰り返し復元力特性に関する研究 (その 1) 摩擦を除去した回転めり込み実験	2017年7月	日本建築学会大会学術講演梗概集	吉富信太、棚橋秀光、岩本いづみ、鈴木祥之
26	鈴木祥之	伝統構法木造仕口の繰り返し復元力特性に関する研究 (その 2) 摩擦を含む回転めり込み実験	2017年7月	日本建築学会大会学術講演梗概集	須田 達、棚橋秀光、大岡 優、鈴木祥之
27	鈴木祥之	平成 28 年(2016 年)熊本地震で被災した神社の被害状況に関する解析的研究	2017年7月	日本建築学会大会学術講演梗概集	佐藤 澤、池内砂織、瀧野敦夫、向坊恭介、鈴木祥之
28	豊田祐輔	Economic Impacts on Tourism Industry in the 2016 Kumamoto Earthquakes: Based on a Survey to Tourism Related Business Offices	2017年5月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Cui Mingji*, Cui Qinglin, Sakai Kohei, Shimizu Hiroari, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
29	豊田祐輔	A Study on Disaster Management for Tourists after Earthquake in Himeji Castle, World Cultural Heritage Site	2017年5月	25th Pacific Conference of the RSAI: Sustainable & Resilient Regional Development	Toyoda Yusuke*, Sakai Kohei, Cui Mingji and Kanegae Hidehiko
30	豊田祐輔	A Basic Study about Developing the ABS Model for a Policy Inspection of Shelter Management in Tourism Area	2017年7月	48th International Simulation And Gaming Association 's Conference	Sakai Kohai, Shimizu Hiroaki*, Cui Mingji, Toyoda Yusuke, Kanegae Hidehiko
31	豊田祐輔	Indigenous knowledge in disaster risk reduction for natural disaster a case study from West Sumatera (DOI: 10.1088/1755-1315/106/1/01200)	2017年8月	"IOP Conference Series: Earth and Environmental Science, 4th International Seminar on Sustainable Urban Development (4th ISoSUD)" Vol. 106	Zulfadrim, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
32	豊田祐輔	Gaming Simulation as Medium between Disaster Education in Schools and Community-based Disaster Risk Reduction	2017年9月	"International Symposium of the 11th SSMS (Society for Social Management System) and the 5th RCND (Regional Conference on Natural Disaster) 2017"	Toyoda Yusuke
33	豊田祐輔	Recognizing and Integrating Indigenous Knowledge into Disaster Early Warning System in Mentawai	2017年9月	"International Symposium of the 11th SSMS (Society for Social Management System) and the 5th RCND (Regional Conference on Natural Disaster) 2017"	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko
34	豊田祐輔	公助と共助に対する期待が自助行動意図に与える影響に関する研究	2017年10月	『日本地域学会第 54 回年次大会 学術発表論文集』(Webpage)	留野僚也*、豊田祐輔
35	豊田祐輔	姫路城世界遺産観光客の帰宅・滞在支援に関する研究	2017年10月	『日本地域学会第 54 回年次大会 学術発表論文集』(Webpage)	酒井宏平*、崔明姫、豊田祐輔、鐘ヶ江秀彦
36	豊田祐輔	Indigenous knowledge for disaster risk reduction in the perspective of	2017年10月	『日本地域学会第 54 回年次大会 学術発表論文集』(Webpage)	Zulfadrim*, Toyoda Yusuke and Kanegae Hidehiko

		indigenous community in Mentawai Island			
37	豊田祐輔	地域防災活動への参加誘因に関する研究	2017年12月	『第8回横幹連合コンファレンス』(USB)	豊田祐輔
38	豊田祐輔	構造物に依存しないソフト防災の現状と課題と可能性(ポスター)	2017年12月	『第8回横幹連合コンファレンス』	川脇康生、豊田祐輔、廣井悠、北村士朗、中西晶、有馬昌宏
39	豊田祐輔	コミュニティ防災用シミュレーション&ゲーミングを用いた教育と研究(doi:https://doi.org/10.11487/oukan.2017.0_E-3-4)	2017年12月	『第8回横幹連合コンファレンス』(USB)	豊田祐輔
40	豊田祐輔	Application of Gaming Simulation to Disaster Education for Foreign Students in Japan	2018年1月	Hong Kong International Conference on Education, Psychology and Society (HKICEPS)	Toyoda Yusuke
41	豊田祐輔	Contributing Factors to Intention to Participate in Disaster Sport Festivals and Events	2018年3月	The Society for Risk Analysis, Asia Conference 2018	Toyoda Yusuke
42	矢野桂司	Virtual Kyoto Platform,	2017年6月	Open Cultural Heritage Scholarship Workshop	Keiji Yano
43	矢野桂司	A Japanese Old Maps Online: Toward an Open Platform for Collaborative Research in the Digital Humanities,	2017年6月	International Cartographic Congress 2017,	Keiji Yano, Ryo Kamata and Benjamin Lewis
44	矢野桂司	日本版 Map Warper の構築と活用	2017年10月	第26回学術研究発表大会	矢野桂司・鎌田遼
45	矢野桂司	すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィックスの活用	2017年10月	第26回学術研究発表大会	上杉昌也・矢野桂司
46	矢野桂司	クラウドソーシングを活用した写真資料(古写真)の地理情報等の同定方法の検討とその課題ー京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例としてー	2017年10月	第26回学術研究発表大会	高橋彰・河角直美・矢野桂司・山路正憲・山本俊平・佐藤弘隆・今村聡
47	矢野桂司	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	2017年10月	第26回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・中谷友樹
48	矢野桂司	時間別滞留人口分布に基づく都市空間構造の把握ーモバイル空間統計の活用ー	2017年10月	第26回学術研究発表大会	花岡和聖・中谷友樹・矢野桂司
49	矢野桂司	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	2017年10月	第26回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司・中谷友樹
50	矢野桂司	デジタルアーカイブ写真のGIS化とその活用ー「京都の鉄道・バス写真データベース」の構築ー	2017年12月	人文科学とコンピュータシンポジウム論文集(情報処理学会シンポジウムシリーズ)	山本峻平・佐藤弘隆・高橋彰・河角直美・井上学・矢野桂司
51	矢野桂司	日本の古地図ポータルサイト	2018年3月	GIS Day in 関西 2018 & 国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏
52	矢野桂司	趣旨説明:日本の古地図ポータルサイト	2018年3月	2017年国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏
53	矢野桂司	カリフォルニア大学バークリー校所蔵古地図コレクションの来歴と今後の展開ー渡米からデジタルアーカイブまでー	2018年3月	2017年国際ワークショップ「日本の古地図ポータルサイト」	矢野桂司・塚本章宏
54	山田悟史	歴史的建造物における非合理的避難の割合と被害の推移に関する研究ー松山城を対象としたマルチエージェントシミュレーションを用いてー	2017年12月	第40回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集:報告pp.159-162,2017.12,日本建築学会	中島昌暉, 山田悟史, 佐野友紀
55	石田優子	熊野参詣道横垣峠における地下水位モニタリングに基づく計測地点選定に関する一考察	2017年7月	第52回地盤工学研究発表会	石田優子
56	石田優子	Estimation of initial ground conditions under stupas based on one-dimensional consolidation theory	2017年11月	The Seventh International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment	Yuko Ishida
57	谷端 郷	ジオデザイン・ワークショップ 2016ー京都府与謝野町の将来計画ー	2017年4月	2017年度第1回歴史都市防災研究所定例研究会	矢野桂司・中谷友樹・花岡和聖・谷端 郷
58	谷端 郷	宮城県南三陸町志津川地区の祭礼を事例とした「記憶地図」調査の経過報告	2017年5月	2017年度第2回歴史都市防災研究所定例研究会	板谷直子・谷端 郷・中谷友樹
59	谷端 郷	「記憶地図」を用いた無形の文化遺産の再生ー宮城県南三陸町志津川地区における地域の祭礼を事例としてー	2017年7月	第11回歴史都市防災シンポジウム	板谷直子・谷端 郷・中谷友樹

60	谷端 郷	スペースシンタックス理論に基づく道路構造と地域住民のリスク認知との関係	2017年10月	第26回地理情報システム学会研究発表大会	谷端 郷・村中亮夫・中谷友樹
----	------	-------------------------------------	----------	----------------------	----------------

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第11回歴史都市防災シンポジウム	衣笠キャンパス	2017年7月	110名	
2	立命館大学ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修2017	衣笠キャンパス、清水寺、仁和寺、産寧坂、熊野、神戸	2017年9月	70名	独立行政法人 国立文化財機構

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	青柳憲昌	朝日新聞「法隆寺金堂壁画『飛天』の美に迫る 記念碑的な収蔵庫、生かして」(2017年12月28日21面)	朝日新聞2017年12月28日21面	2016年 ～2017年12月
2	青柳憲昌	2017年度日本建築学会大会学術講演会 建築歴史・意匠部門 若手優秀発表賞受賞（「1955～56年の『伝統論争』期における建築界の伝統理解—建築家たちの『民家』への注視について—」菅谷英之・青柳憲昌）	2017年度日本建築学会大会	2016年 ～2017年
3	青柳憲昌	読売新聞「京町家建築新基準で活用『長江家住宅』宿泊施設に」(2017年8月31日30面)	読売新聞2017年8月31日30面	2017年4月 ～2017年8月31日
4	青柳憲昌	朝日新聞「法隆寺の収蔵庫、まるで博物館 金堂壁画を調査」朝日新聞(全国版)2018年3月20日32面	朝日新聞(全国版)2018年3月20日32面	2018年 ～2018年3月20日
5	青柳憲昌	「特集・戦後名住宅の新しい見方」青柳憲昌・門脇耕三・倉方俊輔『ディテール』217号、2018年7月号、彰国社、pp.37-116		2018年 ～2018年6月
6	大窪健之	ラジオ被取材:「地域防災に活かす文化的遺産、歴史的遺産」	京都三条ラジオカフェ「きょうと・ひと・まち・であいもん」京都府建築士会、2017年5月6日放送、京都だより(京都府建築士会会報) pp.10	2017年5月6日～
7	大窪健之	招待講演:「Fire Mitigation Project for the Kiyomizu World Cultural Heritage Area in Kyoto, Japan - Research & Development for the Protection of Kiyomizu-dera Area from Fires Triggered by Earthquake in Kyoto-」	Roughborough University (UK)	2017年5月8日～
8	大窪健之	招待講演:「歴史「減災の知恵」を活かした防災まちづくり」	文化遺産を活かしたまちづくり研究会、彦根芹橋辻番所	2017年7月2日～
9	大窪健之	住民防災ワークショップ運営:「初期消火環境の整備へ向けた消火設備のデザイン検討」	加悦重伝建地区防災学習会、旧尾藤家住宅	2017年7月10日～
10	大窪健之	ワークショップ運営:参加型技術講演会「関西における国際観光と防災の未来」	NPO 法人あすの夢土木、国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所	2017年7月19日～
11	大窪健之	講義:「Countermeasures against Post-earthquake Fire Spread in Urban Districts—Water Supply System Improvement Plan in Kamigyo Ward and Surrounding Area of Kyoto City —」	2017年度 JICA 専門家研修「世界遺産の適切な管理を通じた観光振興」、立命館大学朱雀キャンパス	2017年8月2日～
12	大窪健之	講義:「京都の文化遺産を火災・災害から守る取り組み」	2017年度マレーシア国別研修「MJIT 防災修士コース本邦プログラム」、JICA、立命館大学朱雀キャンパス	2017年8月2日～
13	大窪健之	現地調査指導:「彦根市芹橋の防災まちあるき」	文化遺産を活かしたまちづくり研究会、彦根芹橋辻番所	2017年9月30日～

14	大窪健之	シンポジウム講演（パネルディスカッション）：「歴史都市の保全と継承政策」	日本地域学会公開シンポジウム、衣笠キャンパス	2017年10月7日～
15	大窪健之	招待講演：「主題1：火災警報即時発布系統之研發」および「主題2：木造建築密集区防延焼撤水系統之研發」	106年提升古蹟歴史建築・消防安全管理検討会、内政部消防署（台湾）	2017年10月18日～
16	大窪健之	パネルディスカッション講演：「復興の現場から学ぶ ヘリテージマネージャーが、被災地域においてとるべき行動と災害に備えた体制と連携の構築を考える」	京都市文化財マネージャー育成実行委員会、キャンパスプラザ京都	2017年10月29日～
17	大窪健之	フィールドワーク指導：「防災教育フィールドワーク実習」	京都府中学校社会科教育実践研究会、京都市先斗町界隈	2017年11月4日～
18	大窪健之	講演：「世界遺産パタン地区の防災計画への取り組みと地震直後の状況」	音楽と文化の交流フェスティバル 2017 in 京都公演（KUTUMBA BAND CONCERT in Kyoto）、衣笠キャンパス以学館	2017年11月23日～
19	鈴木祥之	伝統木造建築物と耐震設計—木造文化のこれから—	神籬 Vol. 41（西垣林業株式会社発行）	2010年4月～
20	鈴木祥之	講演「伝統構法を未来につなぐ」	嶋臺塾 豊の波をおよぐ	2013年3月22日～
21	鈴木祥之	講演「文化財建造物の耐震改修に向けて」	主催：（社）全国国宝重要文化財所有者連盟 会場：坂日枝神社	2014年6月26日～
22	鈴木祥之	講演「町家に住みつづけるために」	高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル講演会 主催：高山市・飛騨高山伝統構法木造建築物研究会 会場：驛高山まちの博物館 研修室	2014年7月6日～
23	鈴木祥之	講演「伝統構法木造建築物の耐震設計マニュアル」	高山市役所内4階中会議室	2017年12月9日 ～2017年12月9日
24	鈴木祥之	講演「伝統構法の最新情報」, 「新・木造の家」設計コンペ講演会	林野庁九州森林管理局大会議室	2017年12月9日 ～2017年12月9日
25	花岡和聖	大地震で“火災発生” 京の文化財1割ピンチ	京都新聞（2011年1月15日夕刊）	2011年1月15日～
26	豊田祐輔	NEWS ウィズ（三重県の津波碑の住民認知に関する研究の紹介ならびにコメント）	三重テレビ	2017年5月11日 ～2017年5月11日
27	豊田祐輔	防災ゲーム（大阪府土木事務所共同）	いばらき×立命館 DAY2017（立命館大学主催）	2017年5月21日 ～2017年5月21日
28	豊田祐輔	Policy Analysis for Community-based Disaster Risk Reduction	Training Course on “The Government Think Tank” held by Research and Development Institute of Regional Information of Ritsumeikan University, participated by the National Development Planning Agency of Indonesia (BAPPENAS), Osaka Ibaraki Campus of Ritsumeikan University, Ibaraki City, Osaka	2017年7月21日 ～2017年7月21日
29	豊田祐輔	防災（災害）に強いまちづくり～住民によるボトムアップ～	『平成29年度 せつつ生涯学習大学』摂津市立コミュニティプラザ、摂津市	2017年8月3日 ～2017年8月3日
30	豊田祐輔	効果的な防災活動を考える	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻災害リスクマネジメント工学（JR西日本）講座『第14回市民講座—災害リスクを考える—地震・津波災害に備える』、神戸三宮東急REIホテル、神戸、兵庫	2017年10月21日 ～2017年10月21日
31	豊田祐輔	Disaster Mitigation for Tourism City	“15th Collaborative Workshop on Policy Formation for Urban Development and Tourism City in Osaka” the College of Policy Science of Ritsumeikan University and the Faculty of Architecture and Urban Planning of Thammasat University, Ritsumeikan University, in Osaka, Japan	2017年12月14日 ～2017年12月14日
32	豊田祐輔	近年の防災対策と歴史都市の防災	大阪府北部コミュニティカレッジ『大阪府シルバードバイザー養成講座 地域福祉を学ぶ科（1年制）～そして生きがい再発見～』	2018年2月14日 ～2018年2月14日
33	豊田祐輔	立命館大学政策科学部におけるPBL：タイ・プロジェクト（体験・実践型学習におけるフィールドを通	『2017年度 第23回FDフォーラム報告集 FDのこれまでと、これから～多様な角度からFDについて考える～』 pp. 170-174、京都産業大学、	2018年3月3日 ～2018年3月4日



		じた効果と運営上の課題セッション内)	京都府、2018年3月3-4日	
34	谷端 郷	明治三陸地震津波時の景観・地名復原に関する基礎的研究—山奈宗真の津波調査資料を活用して—	公益財団法人国土地理協会編『学術研究報告集第3集』公益財団法人国土地理協会、村中亮夫・谷端 郷・塚本章宏・花岡和聖・磯田 弦、195-212頁	2018年2月

#### 6. 受賞学術賞

No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	鐘ヶ江秀彦	公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成27年度 第9回 FOST 賞受賞	公益財団法人 科学技術融合振興財団 平成27年度 第9回 FOST 賞	ISAGA サマースクールを通じたゲーミング・シミュレーション開発スキルの学習方法に関する研究	2016年3月
2	鐘ヶ江秀彦	国際シミュレーション&ゲーミング学会	第47回国際シミュレーション&ゲーミング学会 世界年次大会2016最優秀論文賞	A Study on Gaming Simulation as a Key of Meta-frame of Planning for Neighbourhood Immigrant Integration and Co-existing Diversity	2016年9月
3	川崎佑磨	(社) 土木学会	吉田研究奨励賞		2016年6月
4	川崎佑磨	(社) 日本非破壊検査協会	睦賞		2016年6月
5	武田史朗		第15回読者と選ぶ「建築と社会」賞・作品部門		2016年6月
6	武田史朗	一般社団法人ニューオフィス推進協会	日経ニューオフィス賞 関西ブロック賞		2016年8月
7	武田史朗	大阪府	第36回大阪都市景観建築賞 審査員特別賞		2016年11月
8	林倫子	公益社団法人土木学会土木史研究委員会	平成28年度土木学会土木史研究発表会優秀講演賞(一般)	愛知川右岸谷底低地の微高地に存在した畑地区の形態と立地に関する一考察	2016年6月

#### 7. 科学研究費助成事業

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	大窪健之	歴史地区を対象とした伝統的減災手法の抽出と科学的検証	基盤研究(B)	2017年4月	2019年3月	分担
2	金 度源	歴史的な町並みにおけるコミュニティ防災を支援する防災活動データベースの構築	若手研究	2018年4月	2021年3月	代表
3	豊田祐輔	周辺参加住民に着目した包括的地域防災力の向上に関する研究	若手研究	2018年4月	2021年3月	代表
4	藤本将光	地盤強度と降雨浸透特性に着目した大規模地震後の降雨による斜面崩壊発生機構の解明	基盤研究(C)	2018年4月	2020年3月	代表
5	矢野桂司	人口減少期の都市地域における空き家問題の解決に向けた地理学的地域貢献研究(分担)	基盤研究(B)	2015年4月	2019年3月	分担
6	矢野桂司	歴史 GIS によるデジタル・ヒューマニティーズの展開	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	代表
7	矢野桂司	「地域の知」の共有と利活用を支援する地域研究情報基盤の構築(分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2020年3月	分担
8	矢野桂司	時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用(分担)	基盤研究(A)	2016年4月	2021年3月	分担
9	矢野桂司	人と社会の側からみた地図・地理空間情報の新技術とその評価	基盤研究(A)	2017年4月	2021年3月	分担
10	矢野桂司	日本古地図ポータルサイトによるデジタル・ヒューマニティーズの推進	挑戦的研究(開拓)	2017年6月	2021年3月	代表

#### 8. 競争的資金等(科研費を除く)

--

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
該当無し						

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1	大窪健之	消火用ノズル				特願 2016-058903		日本
2	大窪健之	消火用ノズル				特願 2016-206815		日本
3	深川良一	弾性体を利用した孔内 載荷試験装置					特許第2571419号	
4	藤本将光	土壌水量を用いた斜面 崩壊危険度の簡易判定 手法			2015- 102216			
5	藤本将光	透水試験装置および透 水試験方法			2013- 193946			